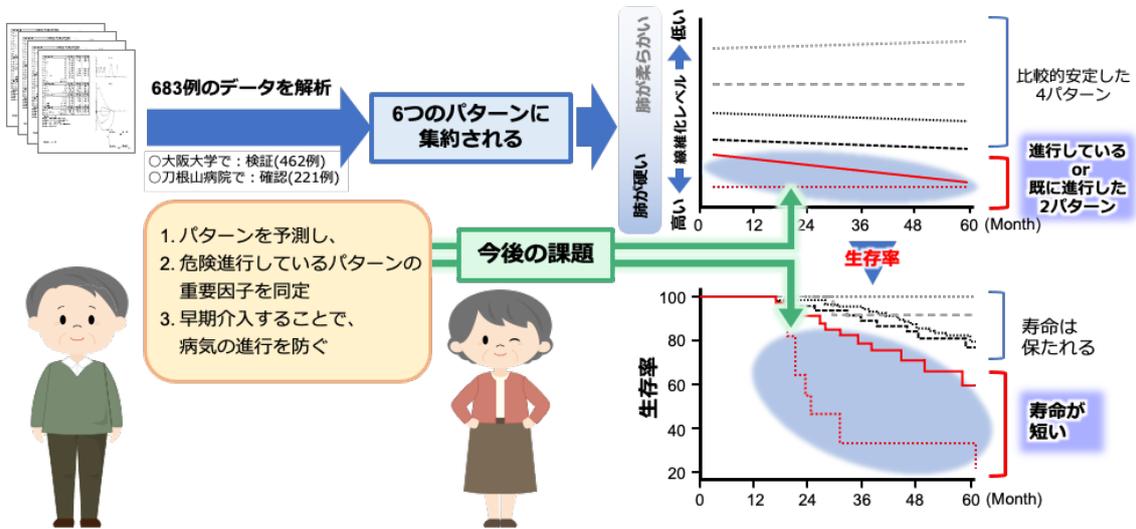
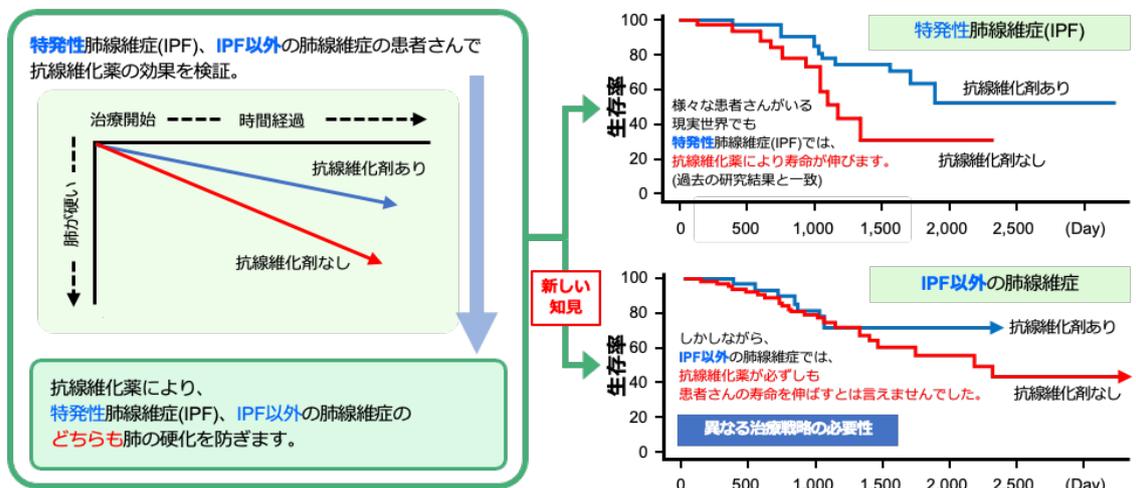


間質性肺炎で通院されている患者さんの呼吸機能の推移



病院を初めて受診される(初診の)間質性肺炎患者さんの、その後の経過は様々で予想困難です。今回私たちは、過去のデータを分析し、間質性肺炎患者さん初診後の経過は6つのパターンに集約されることを示しました。Takata S et al., Int J Tuberc Lung Dis 2023 Apr; 27:332-334. <https://www.ingentaconnect.com/contentone/ijuat/d/ijitd/2023/00000027/00000004/art00012>

肺線維症への抗線維化剤投与と生命予後



2008年ピルフェニドン(ピレスパ®)、2015年ニンテダニブ(オフェブ®)が抗線維化剤として、特発性肺線維症(IPF)に使用可能になりました。2020年IPF以外の肺線維症でも一定の条件を満たせば、ニンテダニブが使用可能になっています。今回私たちは、IPF以外の肺線維症の患者さんでは、抗線維化剤は肺活量低下(肺の硬化)を防いでいたものの生命予後は改善していなかったことを示しました。Niitsu T et al., RMD Open 2023 Jan; 9:e002667. <https://rmdopen.bmj.com/content/9/1/e002667.long>